



会員各位におかれましては、お変わりありませんでしょうか。庭の鉢は立葉があがって来て、早いものは蕾が水面に顔を出した鉢もあるのではないのでしょうか。蓮通信39号をお届けします。

### 第四十回例会のお知らせ

6月中旬には、各地から開花の知らせが届く頃と思われま。例会も蓮の花より一足先に、情報交換で盛り上がりたと思います。

日時 6月14日(土) 13時30分〜17時

議題 蓮の情報交換会

場所 豊島区立勤労福祉会館4階第3会議室  
東京都豊島区西池袋二・三七・四

電話 03・3980・3131

問合せは事務局まで 03・3951・5630

### 『蓮文化だより13号』の原稿募集

『蓮文化だより13号』を明年一月、発行の予定です。原稿締切りは九月末日で厳守です。締切りに遅れた場合は、掲載出来ないことが、ありますのでご注意ください。書式は縦書きです。随筆、創作、観蓮記、研究など蓮に関するものでしたら内容は問いませんが、独創的なものを歓迎します。

一人一ページを原則とし、文字数は二千から二千五百字です。二ページになる方は、五千字を限度とします。写真、図版をなるべく多く添えて下さい。写真の選択は編集部にお任せ下さい。原稿をFD、MQ、CD、USBメモリー等に収め提出される方は、文章上の設定、編集をせず、**TXTファイル**にして下さい。画像は**解像度300DPI以上**でPC加工をせず、**DATTA**はウィンドウズOSで、読み込み可能なフォーマット形式にてお願いします。

### 『蓮文化だより』表紙写真を募集します

今年の総会で『蓮文化だより』の表紙に用いる写真を、会員から次の要領で募集することになりました。振るってご応募下さい。

開花2日目の蓮花一輪を撮影したもので、花托

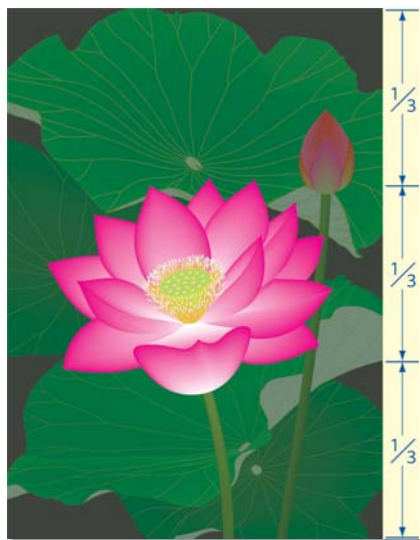
も写っているものに限りません。

バックのぼけは構いませんが、花全体(花托、花弁の条線等)にピントを合わせて撮影して下さい。

A4サイズで印刷する画素数を確保するため、ポジ、ネガファイルは、**6×6、6×9**を等プリントの場合には、キャビネ以上のものを提供下さい。

デジタル画像DATTAの場合には、**500DPI**以上の**RAW、TEF、BMP、JPG**(低圧縮)のフォーマットのものをご用意下さい。

左の構図比率(天、花、地、同高)で、画角トリミング可能に、撮影下さるようお願い致します。



いかなる画像処理もしないで下さい。手を加えられ印刷用に処理不能なノイズなどが発生していると、採用できませんのでご承知下さい。

応募戴いた作品に優れた作品が無い場合には、他からの作品を選択する場合があります。

### 各地の観蓮会をお知らせ下さい

蓮通信40号(6月中旬発行予定)で、今年も全国で行なわれます「蓮まつり」、「観蓮会」を特集します。会員のお宅やお近くの公園、植物園などで蓮まつりや観蓮会の予定がありましたら、事務局までお知らせ下さい。締切りは6月10日です。

### 蓮文化だより12号訂正箇所

『蓮文化だより12号』19頁2行目「之を確認」を「之を管領し」に訂正して下さい。

### 新会員紹介(2月〜4月に入会された方)

城山 豊 〒五二四・〇〇二二

滋賀県守山市守山\*\*\*\*

電話 077・514\*\*\*\*

蓮見智子 〒二〇・〇〇三三

東京都足立区千住曙町\*\*\*\*

電話&FAX 03・3888\*\*\*\*

豊永且行 〒四七九・〇八三九

愛知県常滑市多屋町\*\*\*\*

電話 0569・35\*\*\*\*

FAX 0569・35\*\*\*\*

内藤益子 〒九五〇・〇八六一

新潟県新潟市東区中山\*\*\*\*

電話 025・275\*\*\*\*

熊谷恭孝 〒〇〇一・〇九四三

秋田県秋田市土崎港南\*\*\*\*

電話 018・845\*\*\*\*

FAX 018・845\*\*\*\*

齋藤 清 〒一七六・〇〇〇二

東京都練馬区桜台\*\*\*\*

電話&FAX 03・3557\*\*\*\*

E-mail [ki-yo-saito@com.home.ne.jp](mailto:ki-yo-saito@com.home.ne.jp)

### 中国・第二十二回花蓮展の参加者募集

今年の花蓮展とシンポは、オリンピックの行なわれる、北京の名園、円明園で行なわれます。大まかな日程は次のとおりです。

6月23日(月) 北京でノミネート

6月24日(火) 開会式 円明園

6月25日(水) 交流 観蓮

6月26日(木) 交流 総括

6月27日(金) 閉会式

6月28日(土) 未定

6月29日(日) 帰国

の予定ですが、詳細はまだ未定です。費用などは事務局までお問合せ下さい。締切りは5月末日。

## 会費納入のお願い

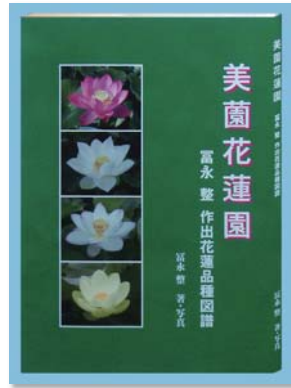
二〇〇八年度の会費未納方は、お振込をお願いします。

賛助会員 一〇、〇〇〇円 夫婦会員 八、〇〇〇円

一般会員 五、〇〇〇円

郵便振替番号 蓮文化研究会 00170・5・608708

## 美蘭花蓮園・富永整 作出花蓮品種図譜



浜松市在住の富永整会員は、内外の蓮の品種を約三五〇品種を収集し育成してきました。今では約900鉢で栽培しています。これらの蓮から人工交配や自然交雑で出来た蓮の実から育てて選抜した、新品種一六〇品種をまとめた、富永整著・写真撮影の作品集『美蘭花蓮園・富永整 作出花蓮品種図譜』が5月下旬出版予定です。

序文／松山俊太郎・船越桂市・鷹森和弥  
蓮の歴史と新品種作出の考察／三浦功大  
版型 B5判(257×182) 98頁(カラー80頁)

## 池上正治著『中国四千年の自力強壯法』

土屋書店刊 八百円

自分の体を自己点検できる本が出版されました。中国古代医学(中医学)、インド古代医学(アーユルヴェーダ)の研究者である著者には、中医学に関する著書や訳書は多数あるが、本書は新書のために書下ろしたものである。自力強壯とは、自分を良く深く理解し、古来の知恵をかりて、自らを強くすること、と解く。肺、胃、腸、脾、心、膀胱、

知の雑学新書  
2008年4月20日初版  
<http://www.tuchiyago.co.jp>

腎、胆、肝、脳の十章からなり、それぞれ中医学、西洋医学、医薬の見知から追求している。  
本書の最終章の「脳」では、蓮の各部の効用で締めくくっている。また、著者は8年前から地元の小中学校で、蓮の栽培を指導していて、今では蓮命と呼ばれている、とも記す。

## 浅間山麓の「お練」は休止中

小諸市・平原で菩薩面の虫干し

3月下旬の北辰(長野県北部)では、風がずいぶん冷たい。それもそのはずで、ふと見上げると、浅間山は六合目あたりまで真っ白ではないか！  
お練、すなわち二十五菩薩来迎会を取材して三年目になる。一年目の当麻寺(奈良県)、二年目の得生寺(和歌山県)のことは、それぞれ会誌ですでに報告した。

長野にも「お練」が、というネット情報は(例によって)超・不確実なものだった。取材の勘は、いちおう商売道具だ。ご縁があったのだらう、現地の教育委員会の好意により、平原地区にある保存会の南沢会長と電話が通じた。



「いや今は、お面の虫干しだけで…」と歯切れが悪い。イヌも歩けば…の心境で、27日、現地を訪れる。



小諸市平原地区・保存会 南沢会長

かつて十念寺(消失)のあった敷地の入口にある石碑「一遍上人初会道場」が、この「お練」の歴史を物語っている。かつての境内は、空き地と畑となり、小さな小屋が2つある。1つは集会場、1つは蔵。その蔵から菩薩の面や仏具、掛け軸などを取りだし、集会場の祭壇に広げているのは、保存会の長老たちである。さっそく拝見する。  
祭壇には、赤い横幕がかかり、中央には釈迦の立像と、坐像の行者が各1、赤い布のうえには菩薩の面25、それに鳥の面などが並ぶ。白象菩薩や地藏菩薩の面などは、確かに深みのある表情で、鎌倉時代の作という説明に納得。壁には、遊行五十二世の書軸や来迎図の版画など。  
平原の「お練」はどうやら、平安時代からの浄土信仰と、一遍(鎌倉時代)のおどり念仏が合体したもののようだ。その意味では、当麻寺や得生寺とは異なる。かつて京都で天覧の栄に浴し(十七世紀)、近くは国立劇場で公演もした(平成三年)無形文化財であるが、  
「人口が減り、若者衆がなかなか集まらない」「資金面で…」(長老談) というのが現況のようだ。(池上正治)

東京大学大学院農学生命科学研究科付属

## 『緑地植物実験所』の存続を求める署名

大賀蓮発見以来、花蓮を収集保存してきた、当会の会長が勤務する、花蓮のメッカ、緑地植物実験所が大学機構の整理統合のため廃止になるうとしています。この維持を求めて地域の町内自治会で存続の署名活動を行っています。

当会もこれに協力しますので、会員の皆様に署名活動をお願い致します。同封用紙に署名して事務局まで返送下さい。

## 蓮のQ&A

022

### 蓮の葉で、象鼻杯をするには？

この象鼻杯は、観蓮会における高尚で、優雅なおもてなし作法ですが、形だけの方法が流布していて、気がかりです（第三者が蓮の葉を持ち、当事者は吸うだけ）。味深い深い象鼻杯のやり方を述べます。

蓮の葉を、腕の長さくらいの茎をつけて切り、棘を除くため、茎の終端の皮を4、5cm程剥きます。もし茎が葉の手前で60〜90度くらい曲がっているものがあれば、理想的です。

葉の中心部（うら側に、茎のある部分）に、楊枝などで2〜3つ穴を開けます。手のひらを、葉のうら側にあて、茎を中指と人差し指で挟みます。もう一方の手で、茎の端を持ち、口に添えます。そして葉のうえに、酒を注ぎます。

飲み方は、葉を、口の高さよりやや下にし、それを揺らし、酒を玉のように転がします。目の福です。それから静かに吸いこみます。口の福です。その動作があたかも、象が悠然と鼻から水を吸いこむ姿に似ていることから



象鼻杯を楽しむ内田又夫氏(撮影:小森晃)

ら、象鼻杯の名があるのです。

蓮の葉の茎を折ると、かなり苦い、白い液が出ます。それがアルコールに溶け、蓮の香りと味が呼吸器系や消化器系を通じて、一瞬のうちに体内に浸透する、そんな気がします。その心地はまるで、世俗にいなから、高雅な世界へと瞬間移動したかのようです。この象鼻杯には、疲労をいやし、雅趣に富んだ爽快な風情があります(T)。

034

### 藕絲というのとは何か？

それは文字どおり、藕(レンコン)の絲(いと)のことです。この「蓮のQ&A」Cグループ027(蓮通信では、第37号)にあるように、こと蓮に関しては、日本語は中国語に比べるとアバウトです。荷ないし蓮がハス全体を、ハスの花は荷花か蓮花、レンコンは藕と、明らかに区分する中国語です。

藕絲(ぐうし)は、食卓でだれしも経験するように、レンコンからでる細い、白い糸のことです。それは「関係がつづく」ことに譬えられて、歓迎されることは、日本でも国も同じです。

絲はもともと、絹糸のことです。光沢をもつ美しさがあり、高級な絹になぞらえられたのは、ハスの糸の名誉です。ところが、実際の藕絲はかなり複雑です。藕絲の別名に、蓮絲(れんし)などあるように、あの糸(すなわち纖維)は、葉の茎からも、花の茎からも取れるのです。茎を折つ



蓮絲を採る作業(韓国)

たことのある人なら、それを実感しているでしょう。

ハスの纖維の実態は、細胞の壁のおもな成分であるセルロースです。それはブドウ糖が鎖状につながったもので、糸状で取り出すことが可能です。この細ながい纖維細胞こそが植物を形づくり、弾力性を保証しているのです。

ハスの茎では、維管束(いかんそく)に纖維細胞が集中しています。そこから取り出した糸をつむげば、藕絲となります。古来、それは手作業で行なわれ、また近年は苛性ソーダで煮ることにより、貴重な藕絲がわずかに入手できました。

『蓮文化だより9号』40頁(2005年)にあるように、大賀藕絲館(町田市)の梅原隆館長(会員)らは、微生物を利用したハス纖維のとり方に成功し、環境にやさしい方法として注目されています。

かの有名な「当麻寺の曼荼羅」(藕絲織?)のことや、最近の藕絲による製品のことは、以下の項にゆずります(G)。

035

### 藕絲ないし蓮絲による製品は？

藕絲すなわち蓮絲で作られたものは、歴史的には、有名な「当麻曼荼羅」など(その実際は、次項で)、仏教に関係したものが少なくありません。それは日本における蓮文化の一面を示しています。

さて現在のことには目を向けてみましょう。すぐに思いだすのが、大賀藕絲館(東京都町田市)のことです。ここでは、縦糸に絹糸を、横糸に蓮糸を用いた「藕絲の香袋」



インド産藕絲織のショール

が作られています。梅原館長が『蓮の話』1号に寄せた「大賀藕絲館」によれば、40kgの蓮の茎から、2gしか蓮糸が採れないとあります。

藕絲を紡いで糸にすることは、ほんとうに気の遠くなる様な作業だろうと思います。同館には茄糸（かし）織のコースターがあります。それは大賀蓮の茎から採った繊維を縦糸に、麻を横糸にしたものです。

仏教の国ミャンマーには、蓮の布製品があります。インレー湖に自生する蓮の茎から採った蓮絲の織物で、少しゴワゴワした感触です。

蓮の原産地を自任するインドには、蓮絲のシヨールがあり、東京でも売られています。それは絹糸を縦糸に、ベンガル産の蓮の茎からとった蓮絲を横糸にして、織りあげたものです（前頁）。

韓国のソウル郊外では近年、地元の蓮の茎からとった蓮絲を用いて、シヨールなどを織りあげ、お土産として売っています。

日本では、2002年、新潟県の十日町市にある織物問屋が、経糸も緯糸も藕絲による「帯」をつくり話題になりました。また、わが会の会員・山本貞氏（京都）が藕絲の和服に挑戦しています（K）。

### 036

#### 藕絲で、曼荼羅が織れるか？

これはかなりデリケートな問題です。

かの有名な国宝「当麻曼荼羅図」原本は、蓮（藕）絲で、中将姫が一夜のうちに織りあげたという伝説があります。それは約四メートル角の大きなものです。

その製法と過程は、当麻寺が伝える「中将姫物語」にあるものとして、長期間、親しまれ、信じられてきました。

昭和14年、古美術自然科学研究会が赤外線写真、X線撮影等をおこないました。これに参加した大賀一郎先生の報告では、「絹糸の綴れ織である」との結論で藕絲は確認されませんでした。現存する最古の藕絲織とされているのは、北九州市小倉の福聚寺にある「藕絲織靈山浄土図」です。寛文9年（1669年）小笠原忠真の供養のために、夫人が奉納したものです。紺色の絹地に、藕絲の緯（よこ）糸で模様を織り出したということですが、

大賀博士が藕絲織といわれているものを調査した結果や、布目順郎氏の報告によると、経（たて）糸、緯糸とも絹糸のものと、経糸は絹糸で緯糸が藕絲のもの、両方があります。大隈重信侯の母・三井子が各地の寺院に奉納した「藕絲育児観音」がまだ現存しています。それらは藕絲の錦織だということです（右）。

このように、藕絲で曼荼羅を織ることは可能だと思われれます。同時に、それに必要な材料や時間、エネルギーを考えると、気が遠くなりそうです（K）。

### 038

#### 数珠における蓮実の感触？

数珠は穴を空けた珠を撚紐に通した、多くは仏教の僧侶が用いる法具で、真言や念仏を唱える際の数取器です。（カトリックの祈りでもロザリオを使う）宗派によっては、法要の時に導師が擦り鳴らす音を耳にしたこともあるでしょう。通説では百八個の珠が、煩惱の数を表していると考えられています。我が国に於いては、鎌倉時代に念仏講が広まると一般大衆にも普及しました。これが他の宗派の信徒にも波及し、仏を礼拝する際、故人を偲び供養する時に、手にかけて参



藕絲織の育児観音三幅対

拝、読経などをするように行なったのです。

このため、簡略化した半数の54珠、3分1の36珠、4分の1の27珠、六分の一の18珠のものが現れ、最近では、珠サイズや手首回りを考慮し、適当な珠数にするものまで様々作られてきました。古くは菩提樹の実等の、木の実を用いていましたが、水晶、金属、石、木材、貝殻、珊瑚、琥珀、真珠、樹脂等、実に様々な素材が使われています。

乾燥した蓮実は、径10mm〜14mm、長さ18mm〜20mm程度と数珠玉に適したサイズです。表皮の厚みが1mmもあり、非常に固く、穴を空け紐通しすると素朴な数珠になります。

蓮実の表皮は肌理細かく滑らかで、鉱物にはない温もりが感じられます。この「皮膚感覚」には、さすが、二千年もの歳月を生き抜く（大賀蓮）生命の威厳があります。

実の加工は、ドリルなどで縦方向に、直径1mm程度の穴を空ければ済みます。問題は内部の折畳まった芽が砕け、穴が広がって胚乳に虫食いが起こることです。数珠職人が制作する製品では、特殊な刃物で胚乳を削りだし、膠を充填するなど、長期品質保持の実加工が施されていました。

松や丁字等を細く削り、木工ボンドなどで穴から実の内部に接着してやると、長期に渡って防虫効果を発揮します。器用な方はチャレンジしてみてください（T）。

### 039

#### 荷葉という、薫物があるそうですか？

薫物（たきもの）とは、お香のことです。左（次頁）の写真が、その荷葉（かよう）です。荷葉は、梅花（ばいか）



蓮実18珠の数珠 秋山恵俊作



お香・荷葉

や菊花(きくか)などとともに六種(むくさ)の薫物(たきもの)に数えられる名香です。ちなみに梅花は春、荷葉は夏、菊花は秋、のお香です。

千年紀の『源氏物語』がよく話題になっています。その「梅枝」の巻では、花散里(はなちるさと)が荷葉を調合すれば、「しめやかなる香して、あはれに、なつかしい」と書かれています。

その荷葉の成分ですが、12世紀の『薫集類抄』によれば、沈香(じんこう、樹脂)が半分以上で、白檀(びやくたん、幹)、丁子(ちようじ、花)、甘松香(かんしようこう、根)、霍香(かくこう、葉)などです。

楽しみ方はこうです。荷葉を、蜜などで練りあわせ、0.7ミリ大の粒にします。それを、火取母(かとりも、香炉)に置きます。あらかじめ香炉の灰は香炭団で暖めておきます。待つことしばし、室内には、清楚かつ清涼感のある荷葉の芳香が漂います。これが空薫物(そらだきもの)です。

この香りを衣類にうつせば、それは衣香(えこう)です。こうした香道(こうどう)は、鑑真に代表される中国の先達たちによって伝えられました。それは奈良から平安にかけて、宮中で楽しまれながら、日本の四季や環境に適合し、しだいに日本人の微妙な生活感情を表現するようになりました。そして室町期に確立、今日にまで伝わっています。

視覚と聴覚の情報があふれる現代ですが、お香は、嗅覚の芸術ともよばれます。その材料は自然のもので、繊細でありながら、大らかな優しさがあります。私たちの情緒や精神性を豊かにしてくれそうで、期待がもてます(KA)。

#### 040

### 蓮の線香には、どんなものが？

かなりの種類があります。写真はその一部で、上の2つがインド産、下がフランス産です。その評判は、価格とも関係するのですが、上はやや化学的香りがし、下はかなり自然な蓮の香りで、下のほうが圧倒的に好評でした。

直径わずか1〜2ミリ、文字どおり「線のよう」に細い、線香です。それに点火すると、白ないし紫の煙がたち上り、芳香が漂います。五感のうちの嗅覚と視覚は、それに吸いよせられ、精神もリラクセスを始めます。

線香を、英語ではincense、中国語では線(条)香といえます。日本の線香の源については諸説ありますが、一般には、インドや中国でいまでも用いられている竹ひご線香が有力です。それは細くけずった竹に、線香の生地をぬり、乾かしたものです。

線香の生地(きじ)は、その用途により大きく2つに分けられます。杉の葉を乾燥させ、粉末にし、のりを加えて練り、線状に成形した後、乾燥します。これが杉線香で、お盆の墓参りには必需品です。栃木県日光市は杉線香の生産地は日本一です。

2つめは、匂い線香。こちらの主原料は楮(タブ)の樹皮です。タブはクスノキ科の常緑樹で、温暖な地方の海岸に自生し、高さ十数メートルになります。幹は建材や家具に、葉や樹皮は黄八丈の染料に。そのタブの樹皮を粉末にし、白檀や伽羅(きゃら)など香木の粉末、炭の粉などを加えて練り、成形・乾燥させたものが、匂い線香です。日本の匂い線香の7割は、兵庫県の淡路市で生産されています。



蓮の香りの線香

蓮の線香は、この匂い線香の一種です。日本でも、蓮の香りのする線香が、品質や値段の幅をもちながら、もっと生産されるといいのですが…。

ちなみに線香は、燃焼が安定しているため、時間の目やすともなりました。座禅をする場合や、かつての遊郭での遊び時間は、1本の線香が燃えつきる間、一炷(いつしゅ、約40分)とされていたそうです(G)。

#### 041

### 蓮の香水があるそうですが？

あります。蓮の花の香気成分を科学的に分析すると、いわゆる香りは、品種によって微妙に違うようです。「蓮

の香りの正体」については、「蓮のQ&A」12や、「蓮通信」35号3頁を参照ください。

蓮の香りは、相対的に甘さの中に少し薬くささのあるフェノール系の清々しい香りで、蓮の神秘的な香りの特徴づける成分です。この成分は、ライラック、ヒヤシンス、ペパーミント、桜などにも含まれていますが、蓮ほど多くはないそうです。ちなみに、分析した数値を基にして、人工香料を調合すれば、どのような匂いも造れるそうです。

蓮の香水とされるものは、エッセンシャルオイルではなく、溶媒で抽出したアブソリュートと呼ばれるタイプで販売されています。それは茶色なので、そのまま肌につけるのではなく、他のものと混ぜて使用されています。

そんなわけで蓮100% PureとかEssential oilと謳ったインド産やイギリス産の香水が、ネット上で販売されていますが、内容や使用方法には注意したほうがいいです。

2007年、東京大学は創立130年の記念事業として、東京大学グッズを売り出しました。焼酎やサプリメントなどと共に、蓮の香水「蓮香 RENKA」(¥2100)を、資生堂と共同開発して販売、大きな話題になりました

また、女性用には蓮の花を、男性用には蓮の葉を、それぞ



蓮の香水

れ用いたオードトワレ「ローパケンゾーブルオム」や、「ジバンシー」シヨパールなどが売られています。いずれもロータスフラワー・アブソリュートの入った製品です(N)。

#### 042

### 聴覚で、蓮を楽しめるか？

楽しめます、Jazzのなかに蓮の花があるからです。

モダンジャズと蓮の花は、なかなか結びつかないと思われませんが、「蓮の花」の曲があります。ジャズが生まれたアメリカには、太古より蓮の花の原種の一つである、黄色の蓮 *Nelumbo lutea* があり、それらの野生種は今もアメリカの各地で咲いています。また、ロスアンジェルズやワシントンDCでは蓮祭りが盛大に行われています。

トランペッターのKenny Dorham(1937~72)が、1950年代に作曲したLotus Blossomです。1959年の録音がKennyのアルバム「Quiet Kenny 静かなるケニー」に入っています。Kennyの暖かみのある演奏は、日本人に好まれ、多くのCDに入っています。

Duke Ellington and His Orchestra の編曲を25年担当した、作曲家の Billy Strayhorn (1915~67)にも、Lotus Blossom があります。1967年に録音され



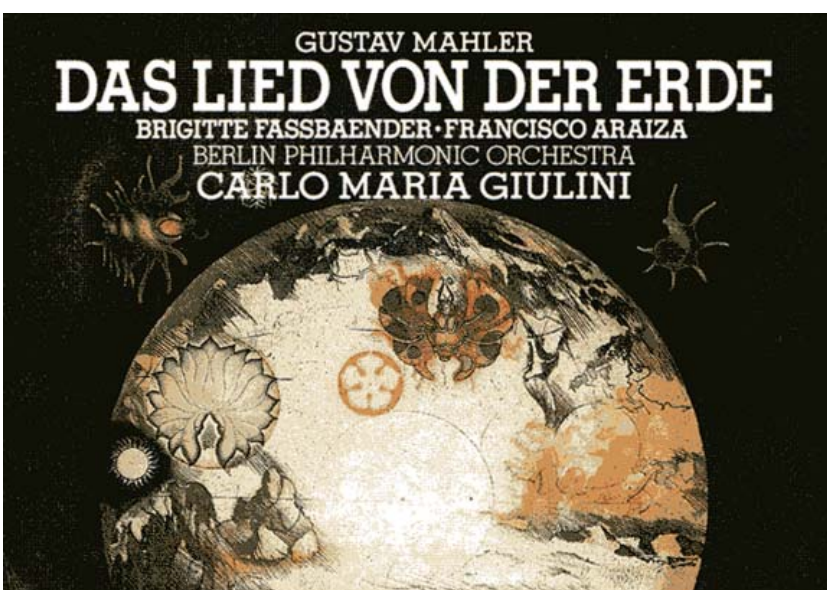
クワイエット・ケニーのCDジャケット

た Lotus Blossom は、Strayhorn の追悼版「... and his mother called him billy Duke Ellington」に入っています。上記2曲は演奏のみですが、2004年に発売された「Ketty - Kneets Ray Bryant 蓮 HASU」には、名ピアニスト Ray Bryant の演奏で、日本人歌手のKetty-Kが、自身で作詞・作曲した Lotus Blossom (蓮の名前になった母) を歌っています(N)。

#### 043

### 交響楽で、蓮をたのしめるか？

本格的に楽しめます。例えば、G・マーラーの「大地の歌」がそれです。これまでその存在は知っていても、心して聴いたことはありませんでした。まず図書館へ。板橋区立(中央)図書館に、カセットの「大地の歌」が



マーラー「大地の歌」CDジャケット

4種類もあつて仰天しました。

L・バーンスタイン指揮、ウィーンフィルのものを借りて、家で何度も聴きました。約1時間、歌詞がドイツ語の交響楽をこんなに聴くのは、たぶん最初で最後でしょう。

作曲は1908年(明治41)、マーラーにとつては第9番目の交響楽です。計6つの楽章から成ります。1章(大地の悲哀…)、2章(秋に寂し…)などは、その楽章名のように、ややペシミスティックで、倦怠を感じさせます。ところが、

ユンゲメーティヘンブリュッケン：

とバリトン独唱ではじまる4章「美について」では、一変します。それは蓮の花をつむ乙女と、駿馬にまたがる若者とを、美しく、ダイナミック表現しています。その歌詞がじつは、李白の「採蓮曲」をベースにしていると知って驚くのは、小生だけではないでしょう。

若耶谿(じゃくやけい)の傍(かたわら)で  
蓮を採る女 笑いながら荷(蓮)を隔てて  
人とともに語りつう：

岸の上には誰かの家の遊治郎(ゆうやろう)：

8世紀の李白の詩が、20世紀の初頭、訳詩集『中国の笛(ペートゲ)』に採られ、ドイツで愛読されていたのです。マーラーもそれを読み、感動した結果が「大地の歌」となったのです。じつに壮大かつ華麗な文化交流ではないでしょうか！

図書館のカセットだけでは満足できず、美しいジャケット(写真)のCD(これも種類もあり)を買ってしまいました(G)。

044

### 日本にも「聴覚の蓮」はあるか？

あります。外国のジャズや交響楽だけでなく、日本にも蓮の花をテーマとし、イメージした楽曲はたくさんあります。たとえば、「蓮花」がそれです。

作詞は海老名香葉子、作曲は谷村新司で、林明日香が歌っています。

蓮華の花が開いた 思い溢れて うす紅の花が開いた



蓮花CD ジャケット

露は涙に似て 時は逝き人は流れ ビルは空に向かい  
伝えいく心忘れて… この花のうす紅の意味 歌う風  
になりたい：

この「蓮花」を聞いてみると、そのやさしく力強い歌声が、聞くものの心を包み、揺り動かすように感じられます。「蓮花」のブログによれば、この歌が2005年に作られたのは、東京大空襲(昭和20年3月10日)の犠牲者を弔い、その惨状を後世に伝えるためだったそうです。

上野の杜に、海老名香葉子が発願者となり、慰霊碑「哀しみの東京大空襲」と、母子像「時忘れじの塔」が建てられました。CD「蓮花」のジャケットには、この母子像がイラストとして描かれています。

またこの「蓮花」は、「あした元気になくれ！ 半分のさつまいも」というアニメ映画の主題歌になりました。アニメの原作はやはり海老名香葉子です。作中の主人公かよ子は、東京大空襲で6人の家族を失いますが、生き残った兄とともに明るく、たくましく生きていきます。関心のある方は、製作委員会のHPを、どうぞ。

歌っている林明日香は18歳(1989年生れ。大阪。13歳でデビュー)のシンガーソングライターです。すでに高い評価を得ており、谷村新司も「心に響く歌」と絶賛していますが、わたしも同感です(O)。

### 047 蓮の花と人形、関係ありますか？

大いに、あります。蓮の花と人形の結びつきの最古は、紀元前5〜6世紀までさかのぼります。インドやパキスタンなどで出土したテラコッタの人形の髪を飾っているのは、まさに蓮の花ではないでしょうか？ これらのテラコッタ人形は、大地の地母神の像(蓮女神像)であり、蓮の花飾りをつけた女性像なのです。

当時の農耕社会において、大地こそが五穀を生産する「母」でした。インドの古代人は、蓮の花を豊饒、生産、多産の神として神聖化していました。この母なる大地に、蓮の女神の像を捧げて、祈ったのでしよう。

日本にも、中国にも、蓮の花を持つたり、蓮の葉を手にした人形があります。その素朴さゆえに、見る人の心をなごませます。



果托の髪飾「千古の夢」部分 木暮照子作



蓮母神像

現在の日本に、蓮の花と正面から対峙して人形を制作している作家がいます。それは、当会の理事である木暮照子さんです。木暮さんは、古代蓮で知られている行田市に住み、蓮の花とともに過ごしています。

春になり、蓮の葉が水面に顔を出すころから、彼女の観察が始まります。やがて立葉が成長すると、蕾が出てきて、20日ほどすると大輪の花を咲かせます。花が散ると、まもなく果托になり、葉が枯れるまで、ほとんど毎日のように、蓮の花を観察して人形制作をしているそうです。

誰よりも行田蓮を観察し、その観察眼から生まれる塑像の蓮人形は、清楚で凛としています。時には艶容なものもあります。そんな蓮の人形を産みつづける木暮照子さんは、日展や新日本工芸展でも活躍しています。代表作を収めた写真集『蓮・心・形』（2006年）があります（Z）。

## 048

### 蓮の提灯があるそうですが？

あります。もともと提灯（ちようちん）は、照明器具の一種です。その用途によって、小田原提灯、道中提灯、盆提灯、高張提灯、弓張提灯など、いろいろとありました。これらの提灯には、無印のものではなく、家紋、家名、屋号などが描かれ、書かれていました。

提灯を最初に記録したのは『朝野群載』（1085年）とされます。そこに記されているのは、寺院や上流階級の者が儀式や祭祀に使用したと思われま。

現在よく見られる蓮文様の提灯は、以下のように2種類に大別されます。

その1は、提灯に蓮文様を描いたものです。主なものとしては、お盆のときに仏に飾る盆提灯や、灯笼流しに用いる灯笼です。どちらにも、蓮の花が描かれています。また、家紋としての蓮の花を描き、飾っているところもあります。

その2は、提灯そのものが蓮の形をしたものです。日本ではあまり見かけませんが、中国や台湾、韓国では多く見られます。1920年代の中国で、お盆の行事を描いた図譜では、蓮の花の形をした提灯や、蓮の葉に口ウソクを立てて、街を行列しています。中国、台湾、韓国の蓮の花の提灯は、形や色がじつに多彩です。

中国や台湾では、蓮の花の提灯を描いた切手が、何種

も発行されています（Z）。



1920年代の北京の蓮花提灯行列「北京風俗図譜」(平凡社)より

## 050

### 蓮の実の甘納豆って、美味しい？

とっても美味しいですよ（甘党には、うれしいQ&Aです！）。写真のように、ちよっと見には、小さな栗か、大きめの大豆、その甘納豆のようです。でもじつは、蓮の実でつくった甘納豆なのです。

マメじゃないのに、甘納豆とはおかしい？ そう思うのですが、それ以外にいい名前がないのです。「甘納糖」としてはお店もあります。もし、いいネーミングがあったら、どうか教えてください。

その味や口あたりは、1点を除けば、いわゆる甘納豆と同じです。1点というのは、わずかに苦味があること



蓮の実の甘納豆

です。そうです、大人の味なのです。この苦味は、蓮の実のなかにある蓮心（れんしん、芽となる部分）の味です。もとは緑色をしていて、目がさめるほどの苦味があり、漢方薬にされるそうです。

日本製では、銀座の鈴屋や、埼玉県行田の十万石のものが、美味しいです。蓮の実の甘納豆ならでは味がし、形がよく、これも少ないからです。売場の人に聞いたことですが、「材料の蓮の実は中国産」とか。製品でも最近では、台湾など外国産がかなりハバをきかせています。蓮の実には、聞くところによれば、脳をよくする作用があるとか。それに甘い味は、五臓六腑の胃や脾にいいとか。そんな難しいことはともかく、蓮の実の甘納豆は美味しいのです（E）。